

令和6年6月10日

報道関係者

出版関係者 各位

国立民族学博物館

広報企画会議長 山中 由里子

## 報道関係者と民博との懇談会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本館の広報活動については、平素から格別のご支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本館の研究や展示についての旬な話題をよりわかりやすくお伝えするために、標記懇談会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

なお、今回の懇談会については、館内の会議室での開催にあわせて、Web 会議システム（Zoom）による配信を行います。懇談会は事前申込制とさせていただきますので、別紙の報道関係者と民博との懇談会参加申込書に必要事項を記載のうえ、6月18日（火）までにメールにてご返信ください。

来館での参加を希望される方は、本紙を印刷、またはスマートフォンで表示した画面を自然文化園窓口（車両の方は迎賓館口）にてご提示ください。同園内を無料でご通行いただけます。

敬具

記

日時：令和6年6月20日（木）15:30～17:00 第1会議室

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続き館長室にてご懇談ください。

### ○主な話題

・ みんなく映画会「TORIO」（話者：本館教授 島村 一平）

・ 最新の研究紹介

「月刊たくさんのふしぎ ウンム・アーザルのキッチン（2024年6月号）」

（話者：本館准教授 菅瀬 晶子）

「中国民族誌学——100年の軌跡と展望」（話者：本館准教授 奈良 雅史）

「音盤を通してみる声の近代——日本、上海、朝鮮、台湾」（話者：本館教授 福岡 正太）

「「楽園」で起きた暴動 ——ニューカレドニアの植民地主義」（話者：本館助教 藤井 真一）

※話題の詳細については、別紙「話題一覧」をご参照ください。

## 報道関係者と民博との懇談会参加申込書

報道関係者と民博との懇談会に、

ZOOMにて参加する

来館して参加する

貴社名 \_\_\_\_\_

御職名 \_\_\_\_\_

御芳名 \_\_\_\_\_

メールアドレス (ZOOM 参加者のみ)

\_\_\_\_\_  
(こちらのアドレスに ZOOM のミーティング用 URL を送付します。)

## 【ZOOM について】

- ・ ZOOM 参加メールは後日に配信します。メールに ZOOM のミーティング用 URL を記載しておりますのでご確認ください。
  - ・ 6月20日(木) 15:15 から接続が可能となりますので、参加メールに記載の URL からミーティングルームにお入りください。
  - ・ ミーティングルームに入室の際はご所属と氏名をご表示ください。
- ※事前に ZOOM アプリのインストールをお願いします。
- ※懇談会開始時に参加者全員に強制ミュートをかけさせていただきます。
- ※懇談会中はミュート設定をオンにし、音声がでないようにお願いします。
- 質問や発言をしたい場合、ミュートをオフにいただければ司会者が指名します。
- 不適切な発言等により進行に支障が生じる場合は退室いただく場合がございます。

令和6年6月20日（木）報道関係者と民博との懇談会  
15:30~17:00 於：第一会議室

話題	内容	担当（予定）	予定時刻（分）	備考
挨拶	ご挨拶	吉田 憲司 館長	3	定例
ニュースリリース	3ヶ月行事予定	山中 由里子 広報企画会議長	2	定例
【 みんぱく映画会 】				
	「TORIO」	島村 一平 教授	10	
【 研究 】				
最新の研究紹介	月刊たくさんのふしぎ ウンム・アーザルのキッチン（2024年6月号）	菅瀬 晶子 准教授	5	
最新の研究紹介	中国民族誌学 ——100年の軌跡と展望	奈良 雅史 准教授	5	
最新の研究紹介	音盤を通してみる声の近代 ——日本、上海、朝鮮、台湾	福岡 正太 教授	5	
最新の研究紹介	「楽園」で起きた暴動 ——ニューカレドニアの植民地主義	藤井 真一 助教	5	

合計時間 35 分（予定・質疑応答別）

◆今後の予定  
令和6年 7月18日（木）15:30~

# 報道関係者と民博との懇談会

2024年6月20日(木)15:30~17:00

# 話題一覧

懇談会

## 1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

## 2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

## 3. みんなく映画会

### 『TORIO (トリオ)』

ダウン症のある息子を周囲の差別や偏見から守るため、母は人里離れた場所で暮らすことを選択します。モンゴルの雄大な自然のなかで、2人の時間は静かに流れていくのだが……。世界各地の映画祭で多くの賞を獲得しました。

日時 2024年7月13日(土)13時30分~16時10分 (13時開場)

会場 みんなくインテリジェントホール (講堂) (定員 350名)

参加費 要展示観覧券 (一般 580円) ※イベント参加費は不要

解説 島村一平 (本館 教授)

司会 信田敏宏 (本館 教授)

※事前申込制 (本人を含む2名まで)、先着順

※一般受付/7月10日(水)まで



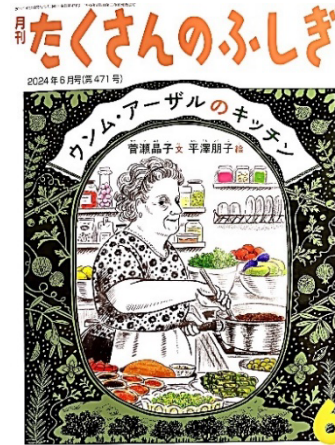
— 島村 一平 (人類文明誌研究部 教授) —

## 4. 最新の研究紹介

### 『月刊たくさんのふしぎ ウナム・アーザルのキッチン』(2024年6月号)

菅瀬晶子(文)、平澤朋子(絵)

イスラエル国籍のアラブ人の存在は、パレスチナ・イスラエル紛争において見落とされがちですが、共存の鍵を握りうる存在です。ガザ侵攻に停戦の兆しが見えず、パレスチナ・イスラエル双方に過激なプロパガンダが飛び交う今、ひとりの女性の物語から、マイノリティとして暮らすことの苦悩と、その中にも存在する喜びについて知ってほしいです。

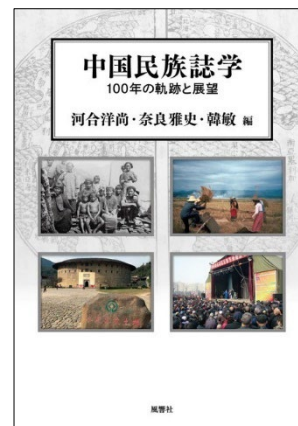


— 菅瀬 晶子 (超域フィールド科学研究部 准教授) —

## 『中国民族誌学——100年の軌跡と展望』

河合洋尚、奈良雅史、韓敏（編）

本書は中国を対象とする人類学的研究（＝中国民族誌学）の「知られざる」理論的知見を中国研究者と非中国研究者の双方に示すと同時に、中国に関心を持つ一般読者にむけて人類学の知見を紹介することを試みています。



— 奈良 雅史（学術資源研究開発センター 准教授） —

## 『音盤を通してみる声の近代——日本、上海、朝鮮、台湾』

劉麟玉、福岡正太（編）

民博は、日本蓄音器商会（現日本コロムビア）が、20世紀前半に制作した外地向けレコードの原盤を所蔵しています。本書は、それらを主な資料とした共同研究の成果です。音盤に刻まれた東アジアの歴史に耳を傾けてみてください。



— 福岡 正太（人類文明誌研究部 教授、副館長） —

## 「楽園」で起きた暴動 ——ニューカレドニアの植民地主義

同タイトルの旅行記や映画の影響で「天国にいちばん近い島」などと表現されたり、観光パンフレット等でも「楽園」というキーワードを使って描かれたりすることが多いニューカレドニア。その「楽園」で、なぜ暴動が起きたのか、その直接的なきっかけはなにか、また、その背景には何があったのか。オセアニア地域を専門とする藤井真一助教が解説します。

— 藤井 真一（超域フィールド科学研究部 助教） —



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp